

令和5年度 特別支援教育目標

一人一人の子どもの実態を把握し、個に応じた適切な指導を行うことにより、社会生活の中で心豊かに主体的に生きていこうとする子どもの育成に努める。

ひまわり2組 学級経営案				評価		
自分の良さに気付き、よく考え、行動することができる子どもを育てる。				1	2	3
学級重点目標	1	基本的な生活習慣を身に付けさせ、返事やあいさつができる子どもを育てる。				
	2	学校生活に見通しを持ち、行動できる子どもを育てる。				
	3	自己の課題に真摯に取り組み、分かる喜びや学ぶ楽しさを感じる子どもを育てる。				
	4	保護者との連携を図りながら個に応じた支援を心がけ、信頼関係を築く。				
学級経営の具体策	Ⅰ 豊かな心と健やかな体	1	交流学級の担任と連携し、子どもたちが交流学級の友達や先生とも進んで関わるができるようなはたらきかけを行う。			
		2	称賛(励まし)を大切にしながら、係活動や作業等の任された仕事を最後まで行うことができるようにする。			
		3	家庭と連携を図り、「ハチツボネブ」を習慣化させるとともに、自身の体を清潔に保つ意識を高め、基本的な生活習慣が整うことができるようにする。			
		4	一人一人のよさを知る機会を持つことで、互いに認め合い、助け合うことができるようにする。			
		5	遊びの機会を増やすことで、運動することの楽しさに気付くことができるようにする。			
		6	身の回りの安全面について考える機会を随時設け、危険を予知することができるようにする。			
	Ⅱ 確かな学力と個性の伸長	1	自分の一日の学習予定・生活予定を把握させることで、落ち着いて学習に取り組むことができるようにする。			
		2	子どもの実態に応じた学習に取り組むことで、学びの楽しさを実感できるようにする。			
		3	読み聞かせを取り入れ、読書の楽しさに触れる機会を多くもち、より多くの本と出会えるようにする。			
	Ⅲ 信頼される学校づくり	1	連絡帳や学級通信、学級PTA等で学校の様子を伝え、保護者との連携を深めるようにする。			
		2	全保護者と計画的に教育相談を実施し、子どもたちの望ましい成長に向けて支援することができるようにする。			
		3	学校・家庭・地域のつながりに気付くことで、家庭や地域に感謝の気持ちを持つことができるようにする。			